

# 関西学院大学新聞

2013年6月1日 第808号



発行 関西学院大学新聞 編集部  
〒662-0891 西宮市上ヶ原1番町1-155  
関西学院大学新学生会館3F  
電話: (0798) 51-1181  
E-mail: kgpress2009@yahoo.co.jp

## 史上初5連覇へ 第36回総合関関戦

6月13日から15日までの3日間、本学西宮上ヶ原キャンパス他で第36回総合関関戦が行われる。史上初の5連覇がかかり、本学全体が緊張ムードに包まれている。今回は、実行委員長の福田さんに話を聞いた。

第36回総合関関戦の振り返り、関関戦を体育会の指針ローガンは、「PROVE」感を証明できるような行事に意気込みを胸に、「PROVE」に決定したいという目標を掲げた。「PROVE」は証明している。「感意昇心」には、それという意味を持って、日々の活動に協力してくれ

る周囲の人たちへ感謝しながら、関関戦に挑むことで、関学関大両校の体育会をより高いレベルにしたいという思いが込められている。本学体育会では「前年度より良い結果をだし、より多くの人に愛され続けたい」という体育会の目標を達成する」という意味で

「MORE」という言葉も設定した。史上初の5連覇を達成し、今年も最高の結果が出ると期待している。今回の総合関関戦実行委員長の福田拓磨さん(商・3)は「体育会の皆さんは前年に今までになかったような記録を挙げたが、慢心することなく相手に挑み、栄冠を手に入れてもらえればと思う。また、各部のリーグ戦などに負けず、士気を高めるきっかけとなって欲しい。試合の中で「MORE」を体現してもらえたら」と感じていると話した。

日付	部	時間	場所
第1日目 13日(木)	開会式	12時50分	上ヶ原キャンパス中央芝生
	陸上ホッケー女子	10時	3フィールド
	陸上ホッケー男子	10時	3フィールド
	卓球	13時	卓球場
	バスケットボール女子	16時	総合体育館大フロア
	バスケットボール男子	17時	総合体育館大フロア
	ゴルフ	7時	千刈カントリークラブ
	庭球	8時	3フィールド硬式野球コート
	硬式野球	10時	3フィールド硬式野球コート
	ソフトボール	13時	3フィールド
	バレーボール	15時	3フィールド
	アイスホッケー	17時	総合体育館大フロア
	ハンドボール女子	17時	総合体育館大フロア
	ハンドボール男子	12時	総合体育館大フロア
	洋弓	9時	2フィールド洋弓場
	フエンシング	10時	総合体育館フエンシング場
	ソフトテニス	10時	1フィールドテニスコート
	硬式野球	11時	総合体育館硬式球場
	合気道	11時	3フィールド合気道場
	レスリング	11時	総合体育館レスリング場
	相撲	13時	新学生会館1F相撲場
	拳法	13時	総合体育館小フロア
	剣道	13時	総合体育館大フロア
	開会式	17時	上ヶ原キャンパス中央芝生

5月24日現在



体育会おすすめの勝ったれ一麺 (380円)

「逆境は青年にとって  
光輝ある機会である」  
エマーソン

## 三田に新たな学びの場 アカデミックコモンズ完成

新たな学生の学習空間「アカデミックコモンズ」が神戸三田キャンパスで4月1日にオープンした。500円や応援Tシャツ(1000円)のような総合関関公式グッズも販売される。売り上げの一部は、東北の被災地のスポーツチャリティに贈られる。私たちの応援は、体育会だけでなく、被災地にも力を届ける。学生に向けて福田さんは「今回はホームでの開催です。普段学校と一緒に過ごしている体育会員の知り合いも努力を体現するので、ぜひ足を運んでほしい。皆さんの応援で5連覇が掴み取れると思うので、応援をよろしくお願いします」とコメントした。

「アカデミックコモンズ」が神戸三田キャンパスで4月1日にオープンした。神戸三田キャンパスの中心に位置するアカデミックコモンズは、第一グラウンドの跡地に建設された。2階建てで面積は約4070㎡だ。共同学習スペース「アクティブラーニングゾーン」、くつろぎ空間の「クレセントラウンジ」を中心としている。学生の学習共有スペース「ラーニングコモンズ」は全国の大学でも設置されているが、図書館の中にあることが多い。しかし、ここでは、図書館の中にあるだけでなく、オープンな空間で利用できる。総関関関戦がホームで行われるチャンスは2年に一度なので、会場に行き、直接自分の肌で熱意を感じ取って欲しい。

「アカデミックコモンズ」は、昼休みに行われている。学生や職員、学生が昼休みに登場して、昼食を食べながら気軽に話を聞くことができる。交通アクセスの充実にも注目したい。アカデミックコモンズはバス停が1カ所に集約されたバスロータリーと直結している。神姫バス・本学のシャトルバスが発着し、授業時間に合わせた便が充実している。バス通学が多い神戸三田キャンパス生にとっては嬉しい限りだ。他に駐輪場、駐車場からも近い。

クレセントラウンジには三田市の名店「カフェ・サント・アン」が出店。勉強とを期待したい。

「アカデミックコモンズ」は、学生生活に欠かせない。三田市の名店「カフェ・サント・アン」が出店。勉強とを期待したい。

「アカデミックコモンズ」が神戸三田キャンパスで4月1日にオープンした。500円や応援Tシャツ(1000円)のような総合関関公式グッズも販売される。売り上げの一部は、東北の被災地のスポーツチャリティに贈られる。私たちの応援は、体育会だけでなく、被災地にも力を届ける。学生に向けて福田さんは「今回はホームでの開催です。普段学校と一緒に過ごしている体育会員の知り合いも努力を体現するので、ぜひ足を運んでほしい。皆さんの応援で5連覇が掴み取れると思うので、応援をよろしくお願いします」とコメントした。

「アカデミックコモンズ」が神戸三田キャンパスで4月1日にオープンした。神戸三田キャンパスの中心に位置するアカデミックコモンズは、第一グラウンドの跡地に建設された。2階建てで面積は約4070㎡だ。共同学習スペース「アクティブラーニングゾーン」、くつろぎ空間の「クレセントラウンジ」を中心としている。学生の学習共有スペース「ラーニングコモンズ」は全国の大学でも設置されているが、図書館の中にあることが多い。しかし、ここでは、図書館の中にあるだけでなく、オープンな空間で利用できる。総関関関戦がホームで行われるチャンスは2年に一度なので、会場に行き、直接自分の肌で熱意を感じ取って欲しい。

「アカデミックコモンズ」は、学生生活に欠かせない。三田市の名店「カフェ・サント・アン」が出店。勉強とを期待したい。



光が差し込むアクティブラーニングゾーン

- 2,3面 KGニュース
  - 4面 連載記事
  - 5面 K.G. studio
  - 6面 戦国武将特集
- 【論説】 日進月歩

4月19日に、公職選挙法におけるインターネット上の選挙活動を可能とした改正公職選挙法が成立した。立候補者は有権者に対して直接メールで投票を呼びかけることや、SNSを利用してアピールすることができるようになった。インターネットを利用することで、情報の流動性や自由性は飛躍的に向上するだろう。しかし、導入し持っているリスクも大きい。例えばSNSでは他人の名前を名乗り、あたかも本人であるかのようになりすます輩もいる。本人であることと信じ込んでしまった有権者がいる恐れもある。現に、芸能人の名前を語った悪質ななりすまし報告されている。また、電子メールを使った選挙活動においては、互いの個人情報を取り扱いは重点となる。注意にメールのやり取りをしてもらううちに、攻撃を受けてパスワードなどが個人の情報が流出する可能性がある。官公庁や大企業も被害にあう時代なので、有権者が直接、立候補者に質問ができることは非常に画期的であり、投票の意欲をさそうものだ。しかし、油断すると痛い目を見る。有権者はもちろん、立候補者は利用を宣言した以上、責任を持ってインターネットと付き合う必要がある。加えて、政府は有権者の年齢を問わずに今回の改正を享受できるように、インターネットリテラシーの教育を徹底する必要があります。





# 感謝を送る

## そんなあなたを応援します

5月4日、JR新長田駅前の若松公園鉄人広場にて本学応援団総部が「第8回そんなあなたを応援します」を開催した。

8回目となる今回は、多くの応募の中から10人の人物が選ばれ応援された。



日頃の感謝がこもった応援

エールを希望する理由はそれぞれで、学生会の再建、総関関戦の成功など、学内に関するものから、入院していた時の友人を探したい、事業を成功させたいなど、一般の人からの依頼も多くあった。中にはマスクोटからの依頼もあった。エールをもらった学生会中央協議会残存公認自治団体会議（通称6・2）議長の前野康太さん（総政・4）からは、「目標に向かい、やらなければならぬ気持ちになった」といった感想が寄せられた。各部のステージも執り行



投稿理由について語る応援希望者

最後は、校歌「空の翼」の一曲としての自覚し、オンライン上のコミュニケーション活動においても関学生としての品位ある態度をとるべきだ。

今回のイベントについて、応援団総部団長の福地さんは「我々が観客や依頼人を応援するために今回イベントを行ったが、逆に我々が元気をもらうことになった。これからも皆さん

# 数々の想いを胸に 子どもカメラマンプロジェクト

4月8日から12日の間、西宮上ヶ原キャンパス大学図書館内で、子どもカメラマンプロジェクトを開催した。

や、震災の事を忘れないで欲しいという気持ちが込められていた。また、企画運営を担当したヒューマンサービスセンター共同プラットホームのボランティア活動時の写真も同時に展示された。写真には、被災地に直接赴き



図書館入り口で多くの写真が展示された

今回の写真展について、篠原さんは「写真展を見て少しでも何かを感じていただければうれしいです。東日本震災のことを皆さん

# マナーを守った使用を SNS啓発

twitterなどのソーシャルネットワーク利用者が急速に拡大するなかで、多数の閲覧者から集中的に批判的な投稿、抗議が多数発生して収集できない状況に陥る、いわゆる「炎上」に発展するケースが後をたない。本学では2012年にソーシャルメディアガイドラインを公表し、教

用ができるほか、大学生活を充実させる意味でも有効なツール。ガイドラインは、利用範囲を狭める意味ではなく、最低限のルールを守れば安心して使えるという考えに基づいて作成している」と話す。



広報室課長補佐の新谷陽介さん

また本学公式facebookは日本の大学の中でも「いいね！」の数がタントツクコモンズ、グローバル人材育成推進事務室ではそれぞれfacebookを使っ

「企業側が採用段階において、学生の過去の発言や行動をソーシャルメディアを使って確認していることも聞いています。不用意な発言が就職活動の足をひっぱることもあります」と新谷さん。

「企業側が採用段階において、学生の過去の発言や行動をソーシャルメディアを使って確認していることも聞いています。不用意な発言が就職活動の足をひっぱることもあります」と新谷さん。

- facebook**  
名称：関西学院大学  
URL <http://www.facebook.com/KwanseiGakuinUniversity>
- twitter**  
名称：関西学院大学  
アカウント ID：@KwanseiGakuin
- You Tube**  
名称：関西学院大学  
アカウント ID：KGPublicity

【ソーシャル・メディア公式アカウント一覧】  
[http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr\\_004420.html](http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_004420.html)  
【(学生向け) ソーシャルメディア利用についての注意喚起】  
[http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr\\_004426.html](http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_004426.html)

# 神秘的な雰囲気の中で イースター礼拝

4月24日にイースター礼拝がランパス記念礼拝堂にて催された。イースターとは復活祭のこと、十字架に架けられたイエス・キリストが3日目に復活したことの記念に由来している。

最後に「ヨハネによる福音書」の旅の受ける」とい、イエスが食べ物に飢えている弟



鮮やかな装飾が施されたイースターエッグ

最初に、無伴奏の賛美歌「イエスとあなたと」を合唱した。アカペラの美しい歌声が、礼拝堂に響き渡った。その後、イエスにまつわる逸話・イエスの旅に主点を置き学生が聖書を朗読した。関西学院聖歌隊・ハンドベルクワイア、パロックアンサンブル・ゴスペルクワイアによる合唱や演奏も行われた。それぞれの美しい音色は真剣に聞き入っていた。

最後に「ヨハネによる福音書」の旅の受ける」とい、イエスが食べ物に飢えている弟

## 関西学院大学新聞総部

# 部員募集!!

新聞に興味がある人、自分の考えを伝えたい人、とにかく何かしたい人、誰でも歓迎します。

連絡先 総部長 豊田恭一 (人福・2)  
kgpress2009@yahoo.co.jp



# 写真展開催決定

## 鉄道研究会

関西学院大学鉄道研究会は、6月11日(火)16日(日)に西宮市立北口ギャラリーにて写真展を開催することを発表しました。

鉄道研究会は1964年に発足し、鉄道の写真や模型が好きな人が集まって撮影会を開いたり全国各地を訪ねたりした。しかし、20年ほど前に部員が減少。一時、自然消滅したがOB会

の努力の結果、現役生との接点を築くことができ、今年に改めて鉄道研究会として活動を始めた。

今回の写真展を開催について、OB会の中村紳一さん(S36年卒)に話を聞いた。1974年に突然の病で他界した、研究会のメンバーである須田一郎さんが撮影したパネル写真やフィルムを家族が大切に保管し、当時の思い出を熱心に語っている様子を見たのがきっかけだ。昨年にOB会で写真展を開催し、



2013年  
6/11(火)~16(日)  
AM 10:00 ~ PM 6:00  
(最終日は PM 5:00 まで)  
西宮市立 北口ギャラリー (第1展示室)  
(阪急西宮北口駅前 ACTA西宮 東館 6階)  
主催: 関西学院大学鉄道研究会OB会  
【連絡先: 中村紳一 0799-41-4841  
〒653-8016 西宮市山手7番5号】

その中で須田さんの写真も展示した。来場者やOB会のメンバーに好評であったため、第2回目の写真展を開催することを決定した。

写真展では、阪神間の鉄道の写真30点の他にテーマを定めていない写真64点の計94点が出品される。OBの写真が多く出品されるが、3名の現役生の写真も出品される。どの写真もバラエティーに富み、風景や日照を際立たせるなど撮影者の個性が生かされている。

中村さんは「会場は西宮北口駅から北東へ徒歩3分の便利なところにあるので、ぜひお立ち寄りの上、鉄道の楽しさを知っていただければ幸いです。その時に、感想記入用のノートもご用意しているので、ぜひご意見をお聞かせください」と話した。

6月15日(土)には、会場と同フロアの大学交流センター大会議室で鉄道アイデアの考え方」セミナー

# 新たなビジネスを!

## 『ビジネスアイデアの考え方』セミナー



今までの例を聞き、ビジネスについて学ぶ

4月17日に、KGビジネスプランコンテスト学生実行委員会による『ビジネスアイデアの考え方』セミナーを開催された。講義のあと、グループワークが行われた。

今回セミナーに招かれた講師は佐藤善信教授である。佐藤教授は本学の専門職大学院教授を勤めており、マーケティング戦略について専門的に研究している。講義の主題はビジネスアイデアとは何か?で消費者のどのような問題を解決するかという、ソーシャルビジネスについて展開した。高齢者を対象に草むしりをする事で利益を得る「草むしり.com」を創業した起業家などの体験談を紹介しそれを踏まえてビジネス革新性を説いた。

その後「こういうビジネスがあればいいのでは?」という新しいビジネス発想について9つのグループに分かれディスカッションを行った。また、各グループのアイデアを元にプレゼン

ナードが開催された。講義のあと、グループワークが行われた。

今回セミナーに招かれた講師は佐藤善信教授である。佐藤教授は本学の専門職大学院教授を勤めており、マーケティング戦略について専門的に研究している。講義の主題はビジネスアイデアとは何か?で消費者のどのような問題を解決するかという、ソーシャルビジネスについて展開した。高齢者を対象に草むしりをする事で利益を得る「草むしり.com」を創業した起業家などの体験談を紹介しそれを踏まえてビジネス革新性を説いた。

最後に佐藤教授は「周りをゆつくり見ること、そして気になることに対して疑問を持つことが大事だ。そして関心にもビジネススクールがあることを忘れないでほしい」と話した。

また6月3日から28日までの間、KG月間ビジネスアイデアコンテスト

ト2013が開催している。内容は自分が発表した人々が求めているサービスなどの企画を提供することだ。優秀賞を取ると、1万円がもらえる。発想に富む関心学生なら応募してみてもいいだろうか。

「いろんなボランティア活動をしている団体があるので、ぜひ一度体験して欲しい」と話すのは関西学院ヒューマンサービスセンター代表の南知佳さん(商・3)。ボランティアという震災支援やゴミ拾いのイメージを持つ学生も少なくない。しかし実際は多様な活動がある。南さん自身も子ども達にバレーボールを作ってプレゼントするボランティアをしたことがあるという。お祭りを明るく盛り上げる手伝いなどの活動もあり、誰でも参加しやすい。

9つの参加団体から、関学唯一の学習支援サークルであるALIVEを紹介する。児童養護施設に毎週訪問し、子ども達に勉強を教えたり一緒に遊んだりする

# 日進月歩

## 『迫る命の選択』

新型出生前診断が4月から複数の施設で始まった。新型出生前診断とは、採取した妊婦の血液から、ダウン症や心臓病などの胎児の染色体異常を調べる検査だ。胎児の正確な病態を知るのが目的であるが、異常が判明すると妊婦が中絶を選ぶ恐れもある。

もともと出生前診断は日本では1960年代後半から導入されていたが、主流の検査には問題があった。お腹に針を刺す羊水検査は流産の恐れがあり、妊婦の血液の中のタンパク質濃度を測る母体血清マーカーテストは精度が低い。一方で新型出生前診断は妊婦の採血という簡単な方法で、胎

児の異常が発見される。今までと違い精度は極めて高い。35歳以上の妊婦などが対象だ。

新型出生前診断で陽性と判明しても、病気を確定させるためには流産の危険がある羊水検査などを受けなければならぬ。ただし新型出生前診断で陽性になって

も、病気がない場合もある。とある出生前診断専門のクリニックでは、出生前診断で異常があると判った妊婦の8割が中絶を選ぶと報じられている。しかし、国は新型出生前診断について実態を調査するが、新型出生前診断を受けた妊婦の中絶率は調査しない。はつきりした中絶率は明らかにし

ないのだ。

新型出生前診断を受け陽性反応が出た場合、夫婦は決断を迫られる。さらに羊水検査を受け病気を確定させるのか。病気が確定した産むのか否か。胎児が一刻と成長する中、命を選択するような決断を下すのに苦しむことになる。

病気が見つかった場合、妊婦が中絶を選ぶことへの違和感は拭えない。検査を受けなければ、中絶を自ら選ぶこともないからだ。病気がたわかった胎児を中絶できる出生前診断は「命の選別」とも言われており、神の領域に踏み込んでいく科

学技術に私たちは置いて行かれてはならない。出生前診断を、命の選別の簡単な手段にしないための取り組みが必要である。

確かに、高齢出産は胎児の病気のリスクが高く、また育児や将来への不安も大きい。多くの人が、病気で苦しむ子どもを産み育てたいと考えていることだろう。しかし、胎児にダウン症などの病気が見つかった場合、腹の中で生き続けている命であることは変わりない。それに、出生前診断で病気が見つからなくても後天的な病気になる可能性はある。病気の胎児を中絶すること

を現代の技術は可能にしたが、その選択は重々しい。

そこで、検査を受ける前にカウンセリングの中で方針を決定することへの義務付けを提案したい。現在もカウンセリングは行われているが、決定を強制するものではない。病気の子どもを産まないために検査を受けるのか、それとも病気が判明しても受け入れて心の準備をするための検査なのか。病気が判明した時に中絶するか否かを決めておくだけでも、検査の目的がはっきりする。陽性反応が出た場合、検査後に決定を下すと安易に中絶を選ぶ恐れもある。出生前診断は胎児の健康を確かめるために、安易に受ける検査であってはならない。

「いろんなボランティア活動をしている団体があるので、ぜひ一度体験して欲しい」と話すのは関西学院ヒューマンサービスセンター代表の南知佳さん(商・3)。ボランティアという震災支援やゴミ拾いのイメージを持つ学生も少なくない。しかし実際は多様な活動がある。南さん自身も子ども達にバレーボールを作ってプレゼントするボランティアをしたことがあるという。お祭りを明るく盛り上げる手伝いなどの活動もあり、誰でも参加しやすい。

# 献血者数増加

## 春の献血週間

宗教総部は4月12日に西宮聖和キャンパス、15日から19日に西宮上ヶ原で春の献血週間を行った。

今回の献血週間は両キャンパス合わせ、521人の献血者数は384人であった。昨年12月上旬に行われた冬の献血週間に比べ、受付者数・献血者数共に、大幅に増えている。

今回、春の献血週間について宗教総部献血実行委員会委員長の遠藤有梨沙さん(文・3)に話を聞いた。

「2013が開催している。内容は自分が発表した人々が求めているサービスなどの企画を提供することだ。優秀賞を取ると、1万円がもらえる。発想に富む関心学生なら応募してみてもいいだろうか。」

遠藤さんは「皆さんは、事故で血液が必要だと思われなくてもいいかもしれません。しかし、実は一番多くの血液が必要なのはガンなどの長期的な治療を必要とする患者さんに対してです。一刻も早く血液を必要としている疾病を患った方々もいます。また、遠藤さんは春では多くの人が来てくれたと話すが、夏の献血週間では落ち込んでしまうかも知れないと話す。毎年の統計データを基に、例年、夏は春より献血者数が減っているのだ。」

だが、私達の活動で身近に思えるようにしたい」と遠藤さんは話した。宗教総部献血実行委員会が季節ごとに献血参加者を募集しているということに、一人でも多くの方々に興味を持ってもらいたい。

★三田キャンパス  
時間: 6月12日(水)、13日(木)  
10時30分から11時30分、12時40分から17時  
場所: 体育館前

★上ヶ原キャンパス  
時間: 6月18日(火)から21日(金)  
10時30分から11時30分、12時40分から17時  
場所: 中央芝生横のテント



# ボランティアを身近に

## ボランティアEXPO



来場者の質問に熱心に答える

ボランティアEXPOが4月16日と17日に、旧学生会館2階ママ上ホールにて行われた。主催は関西学院ヒューマンサービスセンターだ。2日間で250人の学生が訪れた。

本企画はブース形式で行われた。9つの団体がブースを設け、担当者が訪れた学生に活動内容をアピールする。サークルを探したりボランティアを始めたという考えたりする新入生を中心に、多くの学生が訪れた。新しい活動を始めてみたいと考える2年生や3年生もブースで話を聞いていた。

「いろんなボランティア活動をしている団体があるので、ぜひ一度体験して欲しい」と話すのは関西学院ヒューマンサービスセンター代表の南知佳さん(商・3)。ボランティアという震災支援やゴミ拾いのイメージを持つ学生も少なくない。しかし実際は多様な活動がある。南さん自身も子ども達にバレーボールを作ってプレゼントするボランティアをしたことがあるという。お祭りを明るく盛り上げる手伝いなどの活動もあり、誰でも参加しやすい。

9つの参加団体から、関学唯一の学習支援サークルであるALIVEを紹介する。児童養護施設に毎週訪問し、子ども達に勉強を教えたり一緒に遊んだりする







『Request Best ~ beautiful memory ~』

ZARD



美しい歌声と爽やかなメロディーで90年代を彩ったZARD。彼女のベストアルバムを紹介しよう。2008年1月に発売されたベストアルバム『ZARD Request Best ~ beautiful memory ~』は50万通を超えるファン投票の中から、上位30曲が収録されている。また2度目の2枚組ベストアルバムと

なっており、ファンにとっでは心躍る内容だ。1枚目のメインはお馴染み「名探偵コナン」のオープニングテーマである「ゲロリアスマインド」。坂井泉水（ボーカル）が最後にレコーディングしたとされる曲で2番が存在せず、彼女にしては珍しい曲である。他には初期の代表曲である「こんなに愛しても」、同じく90年代に活躍したWANDSの「明日もし君が壊れても」のカバー、また「負けないで」に続いて2番目のヒット曲の「揺れる想い」が収録されている。15曲目は「ドラゴンボールGT」

のエンディングテーマ「Don't you see!」。シリウスにも、ハイテンションにもなれるテンポに心が奪われること間違いなし。2枚目も豪華な内容で、彼女の歌が世間に広まり以て、明るい歌で爽やかな気持ちにさせてくれる「君がいない」や、彼女の代表歌「負けないで」などバランスのとれた構成となっている。

爽やかな曲が広く知られている一方、少し暗く切ない曲も収録されている。彼女の音楽性のバリエーションは聴く者を楽しませてくれる。

現在でも悼まれる彼女の死。しかし彼女の歌は色あせることがない。映画や応援歌でも耳にすることは多いだろう。オシャレとよく噂される関学生なら、エレガント彼女の歌声を心いっぱい堪能してほしいと想う。

アメリカの思想家、詩人であるエマーソンはこの言葉を残した。自分に不利な状況こそが自分にとって光輝くようなチャンスになる、という意味だ。彼が残した名言の中でもっともよく知られている言葉ではないだろうか。

私がこの言葉を授業の課題を片付けながら電子辞書で残した。自分に不利な状況こそが自分にとって光輝くようなチャンスになる、という意味だ。彼が残した名言の中でもっともよく知られている言葉ではないだろうか。



『逆境は青年にとって光輝ある機会である』  
R.W.エマーソン

### ピンチを糧に

誤れば人生を大きく変えてしまうように思える。このような大きな決定を迫られたり、難しい課題が与えられて窮地にいる時こそ今紹介した言葉を思い出し、自分が置かれている状況をポジティブに捉えられよう。大学生活を終えるころには、就職活動が待っている。大きな難所で、抜けるまでには多くの労力を要するだろう。また、これに限らず、生きていく中では様々な選択が待っている。だが、できる限り恐れずに挑みたい。全て自分を大きく進歩させる機会となることを信じて。

Facebook 始めました。



## 教授の背中

富江英俊

教育学部 准教授



今回取材を行ったのは教育学部教育学科准教授の富江英俊先生だ。先生は子どもも地域への帰属意識を研究テーマにしている。個人が属している地域社会への帰属意識をどうやって持てばいいかということや、地域社会と教育の関わりを扱っている。授業は教育社会学や、教育課程総論という教職に関する科目などを担当している。また、教育実習の事前事後指導も行っている。

先生は滋賀県大津市出身で、中高時代を男子校で過ごした。やや閉鎖的な校風で、体罰が行われることもあった。一方で先生には公立高校の教師をしている家族親戚が多く、先生の通う私立高校と公立高校の校風に大きな違いを感じたという。その時から教育学に興味を持つようになった。

高校卒業後は一浪して大学に入学し、1回生と2回生の間は学内情報誌の発行に関わっていた。学生が教授を評価する「逆評定」や、単位の取りにくい教授を鬼取りやすい教授を仏とする「鬼仏表」を掲載するなど少し変わった内容であった。たびたび教授から批判を受け、その事を更に記事にすることもあったという。

### 人生から教育を見出す

地元から出てきて始めた一人暮らしは、寂しいと感じる余裕もないほどであった。勉強にもなかなかついていけず、単位を落とすこともあった。しかし3回生から別のキャンパスに通うために引越したことをきっかけに勉強に集中すると、生活がガラリと変わった。先生は「いろんなことを中途半端にやるのでなく、何かを一生懸命やることで気持ちが入り替わった」と話す。

大学院を出たあとは、保健体育の教師を養成する女子大に勤めた。スポーツ一筋でやってきた学生が多く、自分の人生と比べるとカルチャーショックが大きかった。毎日海外旅行をしているような気分だったという。

2009年には本学の教育学部に赴任した。関学生は何事にも器用にこなすスマートさを感じているという。しかし先生は「良い意味で変な人になってほしい。手堅くまとまるのはもったいないので、何か一つこだわりを持ってほしい」と話す。そして「世の中にはいろんな人がいるので、それを受け入れるような器を持ってほしい」と締めくくった。

### とみえ ひでとし

- 1994年 東京大学教育学部教育学科卒業
- 2000年 東京大学大学院教育学研究科博士後期課程満期退学
- 2003年 日本女子体育大学体育学部専任講師
- 2009年 関西学院大学教育学部幼児・初等教育学科准教授



不穏な空気が漂う学内

### 第5別館にて籠城戦!!

パンシヨップのランチファイブがキャンパスコンピニとして生まれ変わり、学生で賑わう第5別館。今の平穏な様子からは想像できない、44年前の第5別館での出来事を紹介したい。

1969年1月7日午後、全学共闘会議（以下、全共闘）が第5別館の1、2階をバリケードで完全封鎖した。学費値上げ阻止や、学生会館の自主管理などを掲げる六項目要求貫徹を訴えるためだった。

後期試験を控える中、第5別館封鎖への学生の反抗もあつた。8日朝には約100名の学生が教室で授業を受けようとしたが、全共闘は約20名を教室に送り込んで授業を阻止した。封鎖に戸惑いながらも、全共闘の演説に耳を傾けたり、対話集会に参加したりする学生も見られた。一方、反対派の学生もおり約300名が抗議集会を開くが、全共闘は聞く耳を持たなかった。

その後も紛争は拡大し入試に機動隊が出動するなど異常な状況が続くが、2月9日には機動隊により11の建物の封鎖が解除された。最後の砦であった5別館の封鎖が解除されたのは10日であった。



全共闘は六項目貫徹を求める

紛争の混乱の中、大学は改革への道を歩み始めた。オフィスアワーや学生生活への意見や提案を大学に伝えられるCOD（キャンパス創発開発機構）もこの時期に生まれた。その改革は六項目要求を反映したもので、現在の学生生活の基盤になっているとも言える。

## 関学ヒストリア





# K.G. studio

今回のOBインタビュー「タイムスリップ」では関学ゼミナールの理事長中井信哉さんに、学生時代から現在に至るまでの関学への思いを聞きました。「K.G. PEOPLE」ではNPO法人Brain Humanityに所属する米田静矢さんに活動についてインタビューしました。

## K.G. PEOPLE

### # 5. Brain Humanity

米田 静矢さん (人福・2)

## タイムスリップ 第六回 中井信哉さん (82年卒)

在学中に関学ゼミナールを創業した中井さん。今回のインタビューでは学生時代の留学の思い出や仕事のやりがいを中心に語った。

中高大と関学で過ごし、素晴らしい先生と仲間に出会いました。関学に一人でも多くの生徒に行ってもらおうと思い、関学ゼミナールを創業しました。

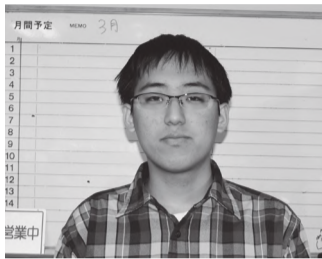
学生時代は家庭教師のアルバイトをやっていた。10人くらいの生徒に教えていました。誰かのために頑張らせると成績が伸びる子が多かった。父や母、好きな人でもいいのです。自分

の目的を果たすだけでなく、誰かのために勉強する最後のひと踏ん張りがあります。このことは今も生徒に伝えていきます。スクーリング「Mastery for Service」の精神です。

就職は商社志望でしたが、家庭教師のアルバイト以上のものは得られないと思いましたが、指導してきた生徒が合格して号泣したり、成績が上がって喜んでいたりする姿は見るのは大きな喜びであり、素晴らしい経験でした。人のために尽くすやりがいや、直接的な喜びがある仕事です。仕事に大きなやりがいがある

ば、天職になりますよ。学生時代には他の活動もしました。当時話題だった関学の教授松本道弘先生が作った英語道場サークルに入り、ニュースウィークやタイムズを読んでディベートをしていました。他にもスキーサークルを作ったこともありました。

転機が訪れたのは3回生の夏、名門スタンフォード大学に2ヶ月ほど留学した時の事です。日本人にはないものを持った友人達に出会いました。特に気が合っていたのがアランという現地の学生です。彼は高級車に乗り、毎週高級イタリアンレストランに連れて行って



「Brain Humanity」には様々な部門があり、今の所、子どもに対する支援が中心です。子ども達とキャンプやスキーなどのレクリエーション活動、児童の不登校に対する支援や海外での植林活動なども行っています」と米田さんは話します。

「活動に参加してくれる子ども達には、少し悪いことを言うが挫折をしてほしい。失敗したからこそ経験や新しい考えを得られる。その子ども達の失敗を我々スタッフが支えたい」と話した。

家が近いこともあり、関学のことは小さい頃から知っていました。時計台から火炎瓶を投げたり、学園花通りを行進したりする激しい学生運動の熱気に憧れていました。私が学生との間は来校したり、24時間飲んで楽しく盛り上がりたりと、今にはないエネルギーがありました。

関学ゼミナールは大手予備校というよりは、個人塾に近いです。他人を蹴落とすのではなく、皆で合格することを目標にしています。点数が悪い生徒がいたら仲間であななどして協力します。

「活動に参加してくれる子ども達には、少し悪いことを言うが挫折をしてほしい。失敗したからこそ経験や新しい考えを得られる。その子ども達の失敗を我々スタッフが支えたい」と話した。

関学ゼミナールは大手予備校というよりは、個人塾に近いです。他人を蹴落とすのではなく、皆で合格することを目標にしています。点数が悪い生徒がいたら仲間であななどして協力します。



中井 信哉 (なかい・しんや)

1960年兵庫県宝塚市生まれ。1978年関西学院大学経済学部入学。1981年、4回生在学中に(株)関学ゼミナールを創業。1982年卒業。現在も関学ゼミナール理事長として生徒の指導にあたる。スタッフは全員関学卒。好きな言葉は「人生二度なし!」

総理大臣の言うことに耳を貸したら、鼓膜が張り裂けて吹き飛んでしまう。俺は俺の予算案を作る必要がある。日本という国家でもない、大阪市長の庭でもない、ただ俺は俺の六畳一間で成り立つ金融政策を施行する必要がある。

## 文芸部 読み切り小説

### 『ババノミクス』

馬場 広大

そう、たとえばワインナーひとつにしても、アルトバイエルンは高すぎるから、まったく無名のブランドのポークワインナーを、腐ったキャベツと煮込んで薄味のコンソメスープを作らなければならない。ペペロンチーノひとつ仕上げるとしても、ベーコンは無し、抑臭にんにくは四十円ほど高くつくから、翌日の体臭を気にすることなく普通ののんにくを使わなければならない。ろうそくの光のもとでこれらのつまましい食事をする。こうしたひとつひとつの小さな努力の積み重ねこそが、すなわちババノミクスである。

節電が叫ばれている。テレビのコマーシャルで何度も呼びかけられている。しかしそこまで言うわりには「節電のしすぎによって体調をこわさないよう気をつけろ」などとのたまっている。笑止千万である。俺の身体は頑丈にできているから、ここでもババノミクスを実行する。コタツは燃やした。暖房は粉砕した。ただひざ掛けと毛布と布団のみがある。ぎりぎりの判断でこれだけは残した。寒い寒いと思うから寒いのである。暑いと思えば人間心理がはたらいて暑くなるものである。冬場においては考えられないほどの汗をかき、そのまま眠ってしまうことが、すなわちババノミクスである。

阪急西宮ガーデンズのショップでも俺を誘惑する。リーヴァイスがデューゼルが服がバッグが時計が俺のポケットから財布を引き出すようにして行く。しかし俺は俺の確固たる意志でこらえる。そんなものを買うのは行動原理に反しているからである。しまむらで買った服、百貨で買ったエコバッグ、時計は無しで我慢する、すなわちババノミクスである。

走らなければならぬ。阪急西宮北口駅近くから大学までなら、余裕で自転車で行ける。間違っても電車など使っちゃいけない。それは俺の決めた俺のルールに反する。甲東園で呑んだあとは飲酒運転を避けるために自転車を押しながら帰る。夜の空気を感じながら歩けることは、もはやババノミクス云々の話ではない。幸せである。

俺は俺の行動に名前をつけることで、それをやらなくてはならないものとして認知することができる。俺は俺による数々の奇行にれっきとした意味を見出すことができる。あるいはただ単に言いたいだけかもしれないが、俺は声を大にして俺自身を扇動し続けなければならない。ババノミクス！ ババノミクス！ ババノミクス！



